

造園です

日造協会員の活動紹介

岐阜県可児郡御嵩町の町
有林を対象に、水源を守る
里山にしようと、岐阜県と
御嵩町、(株)岐阜造園は今年

大学で開催されました日本造園学会全国大会の
分科会では、9つのテーマに分かれて積極的な
討議がなされました。分科会は研究発表会を補
完する自由討議の場においても、これまでとは異
なる対応をもたらしています。

まことに、公共事業をめぐる社会・経済・財政状
況の中で公共事業費の削減とともに大きくは建設
型からマネジメント型へと移行しつつあります。
おり、公共事業費の削減とともに大きくは建設

都市公園においても平成15年に指定管理者制度
が導入され民間企業やNPOなど新たなセク
ターによる公園マネジメントが展開されています
が、市民サービスの向上と経費の縮減の両立
という命題が課されています。このよき命題

に対し「公園マネジメントの新たな展開」の分
科会ではマネジメントに関わるプランや仕組み
づくりと管理運営の現場からの新たな展開が討
議されました。また、安全・安心への意識の高
まりを背景に「遊具のリスクマネジメントのあ
り方」の分科会が設けられ、国土交通省、(社)日
本公園施設業協会、遊具の点検ボランティアを
有する東京都品川区、(財)大阪府公園協会など各

水源を守る里山づくりを目指す

haの山林で、周間に田んぼ
や茶畠があり、同町西洞の
水源地に隣接し、地域の飲
料水や生活用水として利用
されています。しかし、森林は長年放置

(社)日本造園学会副会長
大阪府立大学大学院教授
増田 昇



岐阜県可児郡御嵩町の森林づくり対象地

月31日までの5年間で、活動資金の約2千万円を当社が負担し、社員公募で集まった若手

30人が「森づくりチャレンジチーム」を結成。環境

技術を活かして、ヒノキ林の除伐、間伐、枯れ木の除

去、広葉樹約2千本の植栽、道路整備などを

実施します。

計画では、水源の保全と

森林づくりの対象地は、森林づくりのため、企業と協力し

て親しまれる空間への改善が求められています。

このため、企業と協力し

て森林整備を進める県の考

えに賛同し、参加すること

を決め、「岐阜造園・水土

保全の森みたけ」の愛称で、

協定を締結、実施すること

になりました。

協定は、2014年3月

小中学生の野外活動実習地

が生息している広さ14.66

haの山林で、周間に田んぼ

や茶畠があり、同町西洞の

水源地に隣接し、地域の飲

料水や生活用水として利用

されています。しかし、森林は長年放置

されています。

また、御嵩町は、住民の

力で環境保全が進められた

学会の目・眼・芽 第5回

21世紀に入りすでに8年あまりが過ぎました
が、今、社会潮流は、少子高齢化や低成長経済
を背景に環境問題や省資源・省エネルギー、防
災や安全・安心への意識の高まり、生活要求の
多様化など大きく変わりつつあります。このよ
うな変化は造園界を取り巻く公共事業や地域、
まちづくりの展開においても、これまでとは異
なる対応をもたらしています。

このような社会潮流の変化の中で、先の明治

大学で開催されました日本造園学会全国大会の

分科会では、9つのテーマに分かれて積極的な

討議がなされました。分科会は研究発表会を補

完する自由討議の場として設けられているもの

で、テーマは公募によってますが、時代的要

請を色濃く反映した内容となっています。

まず、公共事業をめぐる社会・経済・財政状

況の中で公共事業費の削減とともに大きくな

り、公共事業費の削減とともに大きくな

